

世界レベルの先端技術、製品群を生み出す企業や大学・研究所が集積する多摩。そこでは日本の国力の源泉ともいえる製造業が再び輝きを取り戻しつつある。その現状と未来像を社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）の古川勇二会長（東京農工大大学院教授）に聞いた。

多摩のいき

TOKYO WEST

ものづくり王国への夢 ④

古川勇二・TAMA協会会長に聞く



「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

得意分野で企業融合 近い大消費地の利生かせ

「東京という大消費地に近い大消費地の利を生かして、得意分野で企業融合を図る」

——多摩の現状、製造業の姿をどうみるか。

「計測、制御、電子を中心にしたものづくり業が多い。特定地域に集積している都区部と違い、広域に散在してすそ野が広い。工業出荷額は埼玉、神奈川県を含む広域多摩の約二十四兆円で、北海道の域内総生産（GDP）二十兆円弱を上回る。米田という中小、中堅企業が典型だ」

「計測、制御、電子を中心にしたものづくり業が多い。特定地域に集積している都区部と違い、広域に散在してすそ野が広い。工業出荷額は埼玉、神奈川県を含む広域多摩の約二十四兆円で、北海道の域内総生産（GDP）二十兆円弱を上回る。米田という中小、中堅企業が典型だ」

「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

「複数の大学と企業が融合効果、相乗効果を生み出すのが本筋だが、大学の知的財産や研究成果が中心で、具体的な成果はこれからだ」

東京

今回のシリーズは多摩支局長・鈴木純一と地方部・岩崎樹生が担当した。